

9月26日（月）第3回教養アップ講座（京都大学学びコーディネーター事業の実施）を開催しました。

「時間生物学入門～体内時計はどこにあるのか」

講師 京都大学大学院理学研究科 研究員 磯田 珠奈子 氏

今回の講座は、京都大学が高大接続・高大連携活動の一環として、全国的に展開している「学びコーディネーター事業」を活用し、過去最多の170名以上の希望生徒が集まり開催されました。階段教室を主会場に物理第1、第2実験室をzoomで結びお話しいただきました。「体内時計」という言葉はほとんどの参加者が耳にしたことがあったものの、本当に存在していることすら初耳、どこにあるのかなど皆目見当がつかない中、丁寧にお話ししていただきました（体内時計は各細胞に備わっているそうです）。先生は、ウキクサを使い実験を進められているそうですが、ウキクサへの愛情やご自分の研究に対する愛情がひしひしと感じられました。特に、動物の体内時計は脳が管理しているが、植物は管理する器官がなく、放っておくとぼろぼろになってしまう時計の刻みが光によって制御されるという先生の研究成果をお話しいただき、生物の不思議さと研究の楽しさの一端を感じることができました。「研究の原動力は何か」という生徒からの質問に対し「実験がうまくいかなかったとき、なぜなのかと考えるとワクワクする」とお話されていたことは、多くの生徒の心に残ったようです。講演終了後は、個別に質問にくる生徒が多く、30分以上丁寧に答えていただきました。知的好奇心をくすぐるととても楽しい講座でした。

